

水と都市

都市論における水の位相

平成 25 年 10 月 27 日 (日)

プログラム

- 13:30 開会あいさつ：淀川水系のすがた
長浜から大阪へ 新宮一成
- 13:50 水からよむ都市のかたちとくらし
長浜の水路とカワド 中嶋節子
- 14:40 水をめぐる都市の共同性 間宮陽介
- 15:30 水都大阪の再生
シビックプライドと都市魅力創造 橋爪紳也
- 16:20 総合討論
- 17:00 閉会

もともと人間が集合して住まう都市は、自然の水との深い関係のもとに作られた。水は人間にとって必要不可欠なものであるものであったからである。けれども水と人間との関係はさまざまな位相をもつ。水は都市の間をつなぐと同時に都市と人との間をつないできた。ときに水は災害をもたらした。水の運動を管理することは都市の論理の重要な一部をなしてきた。水はまた人間が都市を離れて生きる可能性をも与える。人間の体の各部をつなぎ人間の命を動かすものは水である。学際教育研究部において調査した長浜市におけるカワドは、家の背後に位置し、町の生活を水の流れへと開く。そしてその水を人間はもう一度体内に導き入れる。「人間」を「都市」に置き換えても同じである。長浜市の淀川水系の源流から大阪湾に至るまでの水の流れはまるで一人の人間の身体のごとくである。都市における水との関係の持ち方は、そこに住む人間の生活哲学を表現している。都市論はそれゆえしばしば水に着目して紡がれ、同時に人間論ともなってきた。水と人との関係を軸にして、新たな都市論を展開します。



間宮陽介

東京大学経済学部卒業。社会経済学専攻。京都大学人間・環境学研究科教授を経て、現在、京都大学名誉教授。主著『モラル・サイエンスとしての経済学』（ミネルヴァ書房）、『市場社会の思想史』（中央公論社）、『法人企業と現代資本主義』（岩波書店）など。編著に『岩波講座・都市の再生を考える（全8巻）』（岩波書店）、『公共空間とコモンズ』（昭和堂）がある。



橋爪紳也

京都大学工学部建築学科卒・大阪大学大学院工学研究科博士課程修了、建築史・都市文化論専攻。工学博士。大阪府立大学 21 世紀科学研究機構教授、大阪府立大学観光産業戦略研究所。『「水都」大阪物語』『広告のなかの名建築 関西篇』ほか、都市や建築に関する著書・編著は 50 冊を超える。大阪府特別顧問、大阪市特別顧問、イベント学会副会長、大阪府市文化振興会議会長、大阪・光の饗宴総合プロデューサーなどを兼職。



新宮一成

京都大学医学部卒業。精神医学・精神分析学専攻。京都大学大学院人間・環境学研究科教授。主著『ラカンの精神分析』（講談社現代新書）『夢分析』（岩波新書）など。サントリー学芸賞（歴史・思想部門）受賞。



中嶋節子

京都大学工学部建築学科卒業。都市史・建築史専攻。京都大学大学院人間・環境学研究科准教授。主著『近代とは何か』（東京大学出版会、共著）、『近代日本の歴史都市—古都と城下町』（思文閣出版、共著）、『京・まちづくり史』（昭和堂、共著）など。

会場：京都大学人間・環境学研究科新宮研究室精神医学的精神分析プロジェクト 研究発信拠点 船場ビルディング 302 号室
<http://www.e-cosmetics.co.jp/momoi/>

主催／問い合わせ：京都大学大学院人間・環境学研究科学際教育研究部 新宮研究室精神医学的精神分析プロジェクト
TEL 075-753-2014 <http://www.prihanuicn.net>